

# キッチン水栓 取外し工具

KG-50A

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後、必ずすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

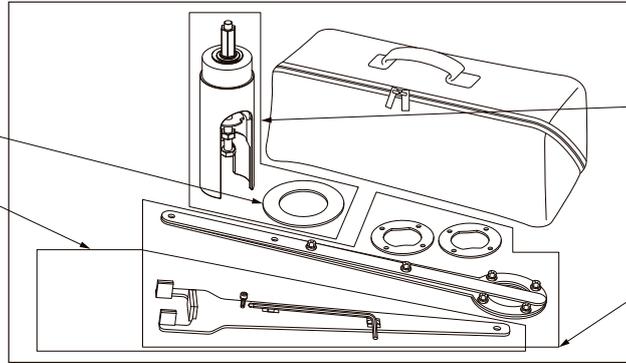
## 本工具の目的

本工具は、水栓金具の交換時にシンクから水栓金具を外す際、クイックワン施工（上面施工）金具と固着している水栓を取り外すための工具です。

## 商品概要

カバーリングを回転させるための工具

KG-50A

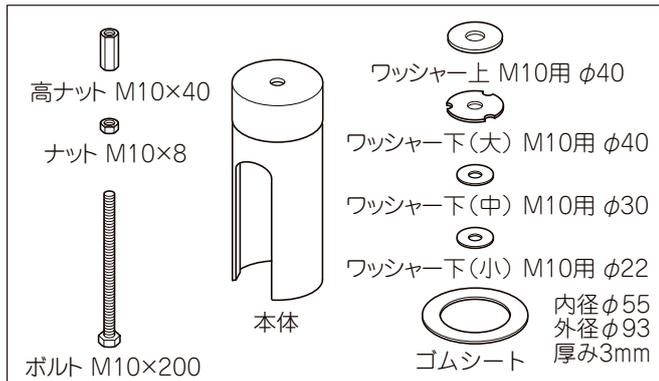


クイックワン施工金具から水栓金具を取り外すための工具

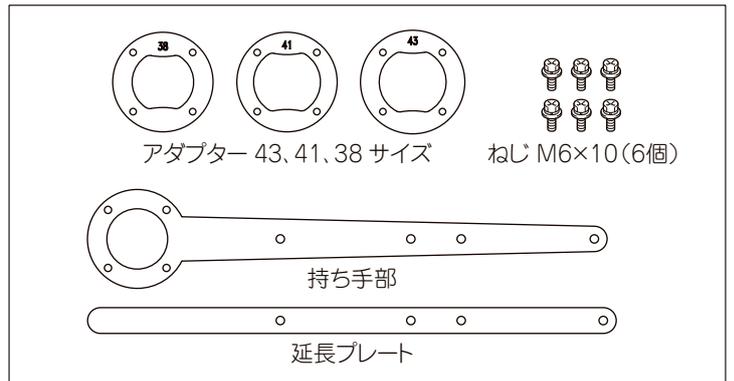
固定ナットを取り外すための工具

## ●構成部品

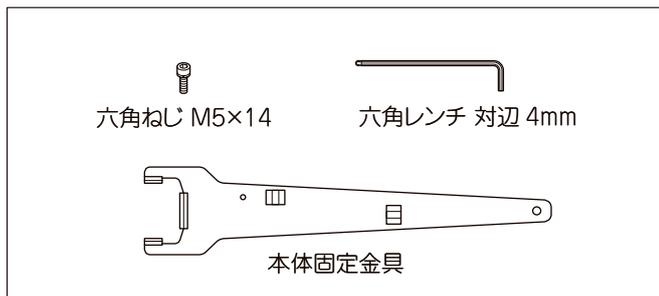
### ・固着水栓取り外し工具



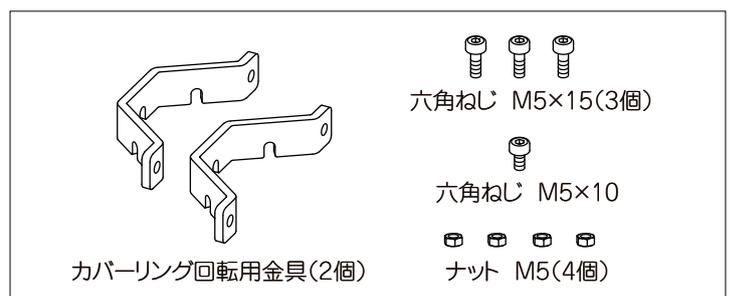
### ・固定ナット取外し工具



### ・本体固定工具

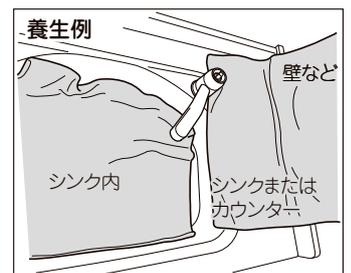


### ・カバーリング回転用工具



## ●安全上のご注意

- 工具は説明書をよくお読みいただき、十分に注意してご使用ください。  
※キッチンを破損させたり、ケガをする恐れがあります。
- 本工具使用中は、本工具をつかんで前後左右に力を加える等をしないでください。  
※キッチンを破損させる恐れがあります。
- 水栓取付部の状態を確認し、水栓取付部に裏補強木（当て木）がない、または破損している場合は、工具を使用しないでください。  
※キッチンを傷つける恐れがあります。
- 本工具使用時はシンク内、シンク、カウンター上面、場合により壁等を養生してください。
- 固着水栓取外し工具またはカバーリング回転用工具を使用するときは、必ず同梱のゴムシートを使用してください。  
※キッチンを傷つけたり、破損させる恐れがあります。
- 水栓金具、工具、キッチンに凹凸やたわみなどの変形及びひび割れや賭けがある場合は、工具を使用しないでください。  
※キッチンを破損させたり、ケガをする恐れがあります。
- 本工具は安定した状態でご使用ください。  
※床が濡れていたり体重をかけてのご使用等は、ケガをする恐れがあります。





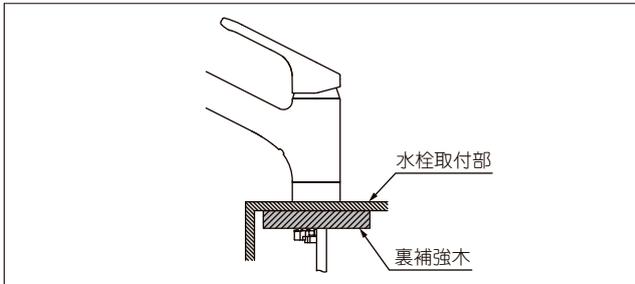
## ●必要な工具など

スパナ（呼び8、17）、プラスドライバー、手袋、ねじすべり止め液、ハサミ、その他既設水栓を外すための工具（ぞうきん、精密マイナスドライバー、プライヤー等）

## ●作業手順

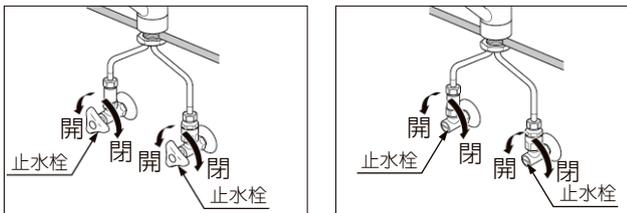
### 1 水栓取外しの準備

1. 安全のため、手袋をします。  
水栓取付部に裏補強木（当て木）があること、または破損していないことを確認します。  
※裏補強木（当て木）がない、または破損している場合は工具を使用しないでください。

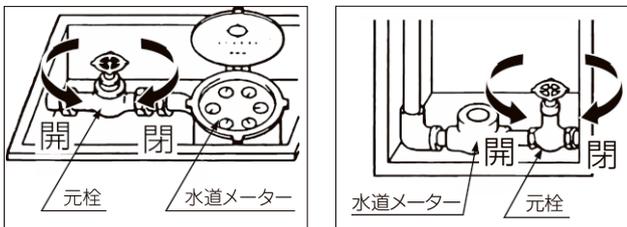


2. 止水栓または水道の元栓を閉めます。

#### カウンター内部に止水栓がある場合



#### カウンター内部に止水栓がない場合



※レバーハンドルを上げて、水が出ないことを確認してください。

3. 止水栓からホースを外します。

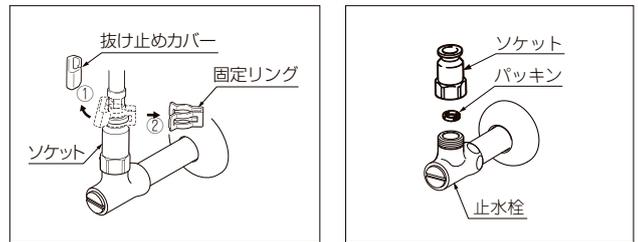
#### 3-A. 止水栓ソケットがボタン式の場合

止水栓ソケット側面の青いシールをはがし、ボタンを押しながら、ホースを上へ引いて外します。  
※給水（給湯）ホース内の水が出るので、洗面器とぞうきん等で受けてください。  
※Oリングを傷つけたり、ゴミかみをさせないようにしてください。漏水の原因となります。

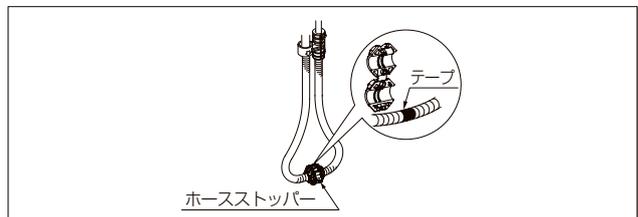


#### 3-B. 止水栓ソケットが固定リング式の場合

抜け止めカバー、固定リングを取り外し、止水栓からソケットを取り外します。



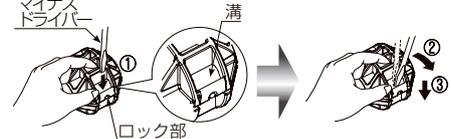
4. シャワーのホースストッパーをマイナスドライバーで外します。  
※手順4～6は、ハンドシャワータイプの手順です。それ以外の水栓を取り外す場合は、手順7に進んでください。



#### ポイント

##### ホースストッパーの外し方

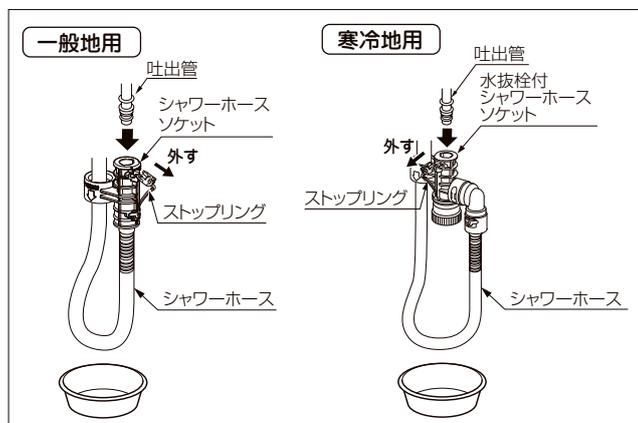
1. ホースストッパーを指で押さえます。ロック部の溝に、マイナスドライバーを矢印①の方向に差し込みます。
2. 差し込んだマイナスドライバーを矢印②の方向に傾けます。
3. マイナスドライバーを矢印③の方向に押し込んでロックを解除し、ストッパーを外します。



5. 吐出管とシャワーホースソケットを取り外します。

#### 5-A. シャワーホースソケットがストップリング式の場合

吐出管からシャワーホースソケットを外します。  
※シャワーホース内の水が出るので、洗面器とぞうきん等で受けてください。



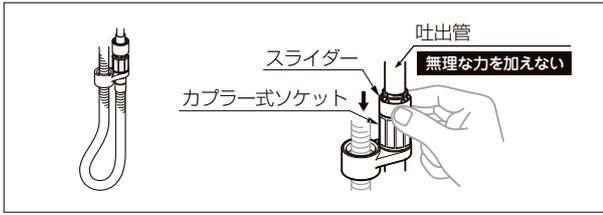
#### ポイント

##### ストップリングの外し方

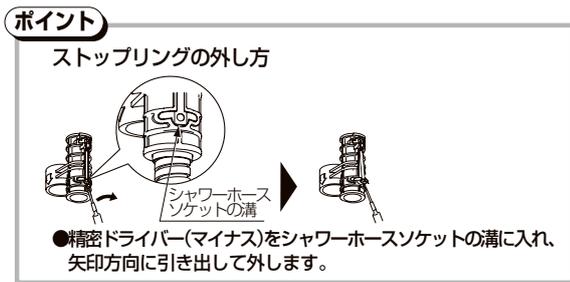
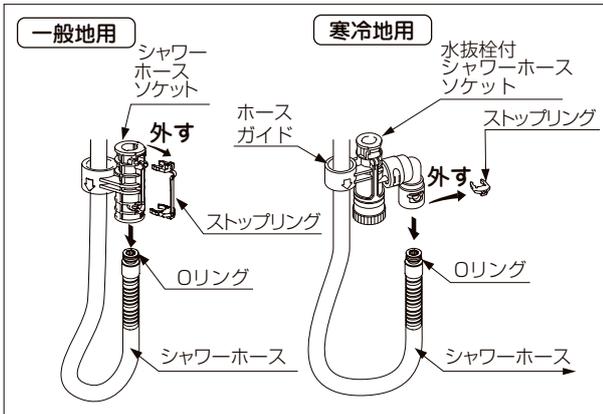


- 精密ドライバー（マイナス）を小穴に入れ、矢印方向に引き出して外します。

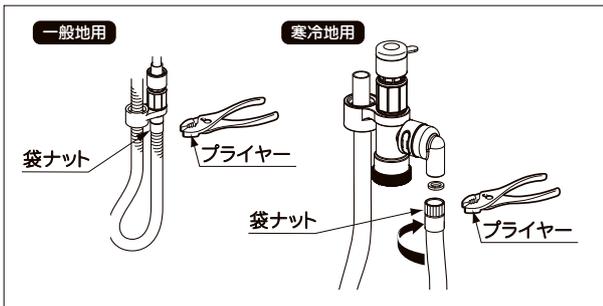
- 5-B. シャワーホースソケットがカプラー式の場合  
 スライダーを下にずらしながら、カプラー式ソケットを  
 下げて、吐出管から取り外してください。



6. シャワーホースソケットからシャワーホースを外します。  
 6-A. シャワーホースソケットがストップリング式の場合



- 6-B. シャワーホースソケットがカプラー式の場合  
 プライヤーで袋ナットを取り外してください。

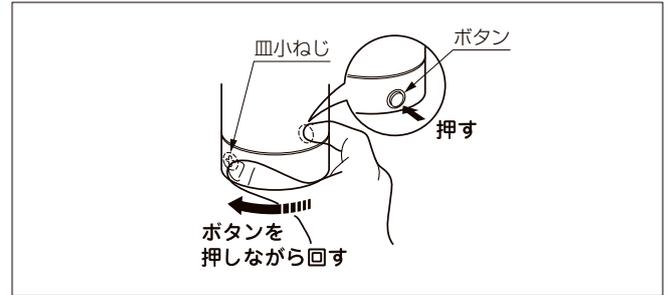


7. 水栓のハンドルを取り外してください。

## 2 カバーリングの回転

カバーリング背面のボタンを押しながらカバーリングを  
 180°回します。  
 その後、カバーリングの穴の位置を皿小ねじに合わせ、皿小  
 ねじを外します。

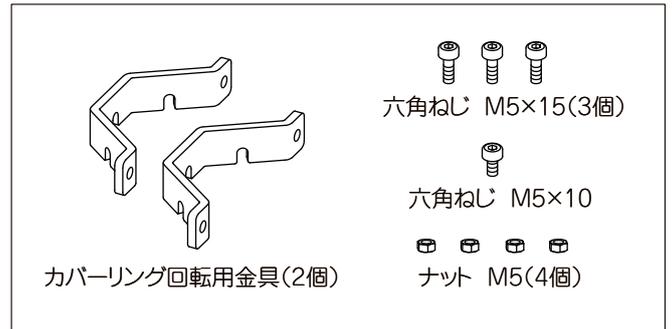
カバーリングと水栓本体が固着して回せない場合があり  
 ます。  
 その場合は、カバーリング回転用工具を用います。



## ◎カバーリング回転用工具の使用方法

### 構成部品

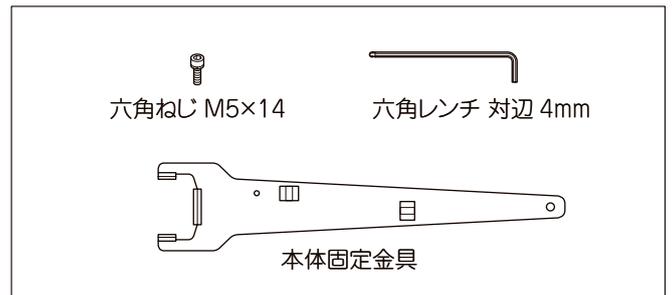
- ・カバーリング回転用工具



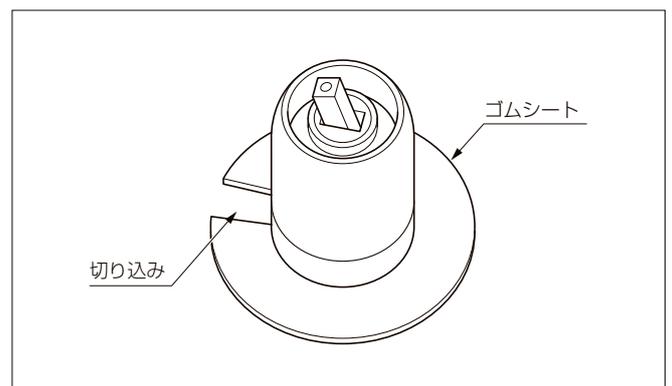
- ・固着水栓取外し工具



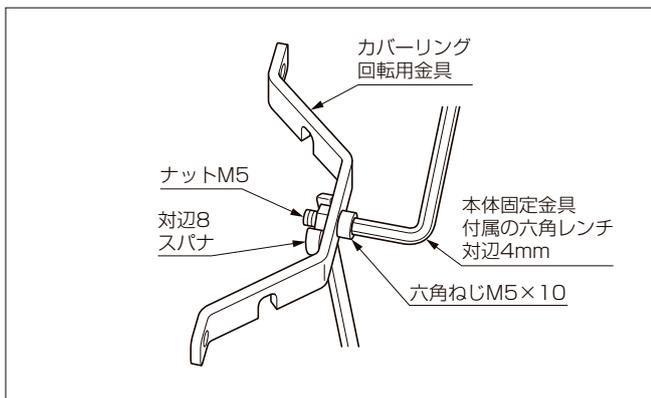
- ・本体固定工具



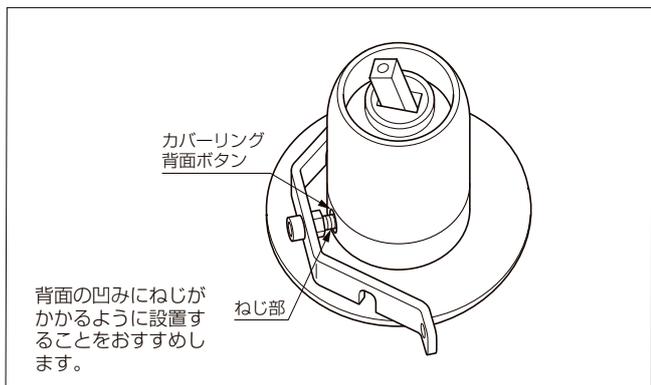
1. 水栓の周囲を固着水栓取外し工具のゴムシートで養生します。  
 ゴムシートをハサミで切り込みを入れて、水栓本体周り  
 にゴムシートを敷きます。



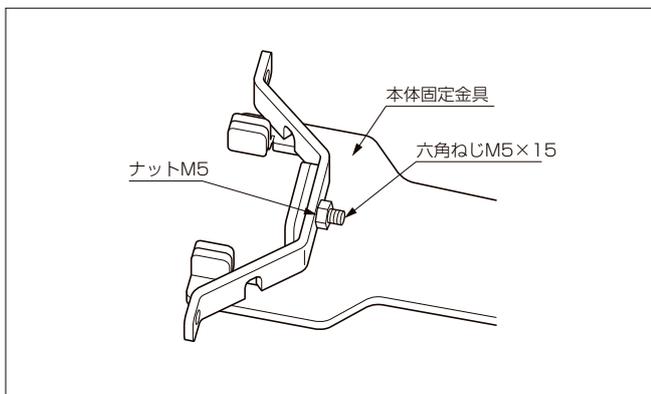
2. カバーリング回転用金具に六角ねじM5×10をナットM5で固定します。



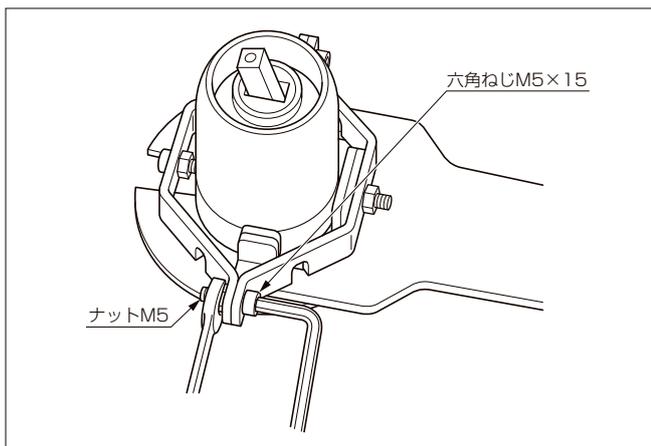
3. 上記2で作成したカバーリング回転用金具のねじ部がカバーリングの背面ボタンを押すように設置してください。



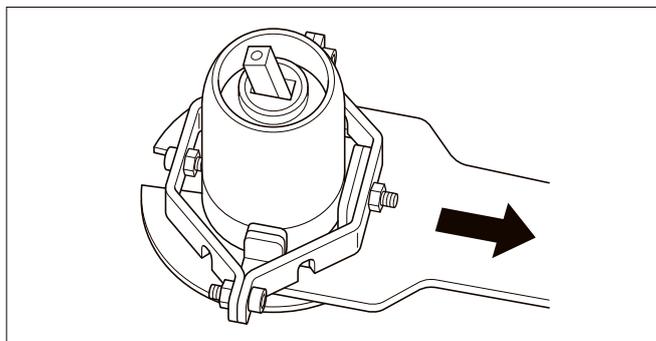
4. 六角ねじM5×15 1本とナットM5を使って下記の様に本体固定金具とカバーリング回転用金具を固定します。



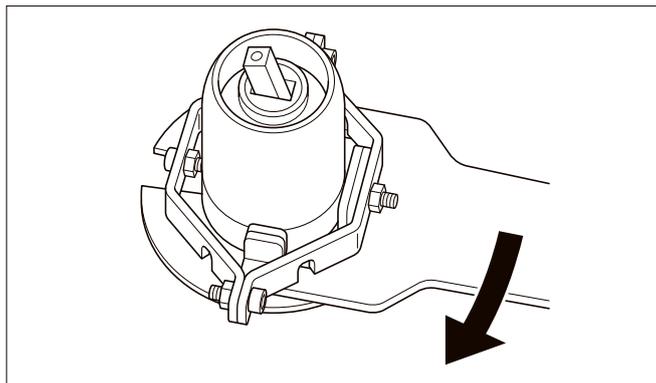
5. カバーリング回転用金具同士を六角ねじM5×15とナットM5で固定してください。  
※本体固定金具付属の六角レンチ対辺4mmと対辺8スパナを使って締めてください。



6. 工具を手前に軽く引っ張ります。



7. 本体固定金具を回転させてください。  
※回転方向は左右のどちらでもよいです。



### 3

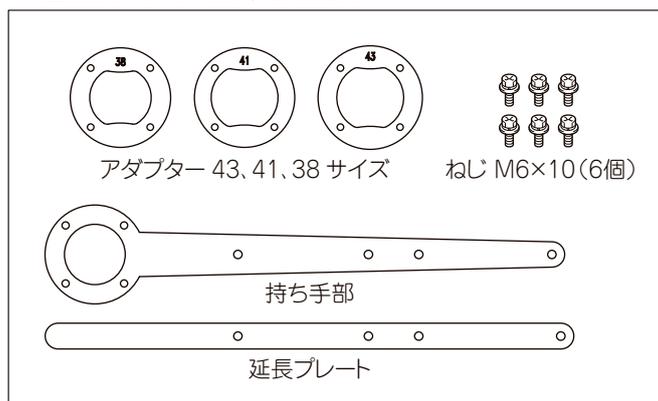
## ヘッドパーツの取外し

- A. 固定ナット式の場合  
市販のモーターレンチなどで固定ナットを外します。  
固定ナットと水栓本体が固着して回せない場合があります。  
その場合は、固定ナット取外し工具を用います。

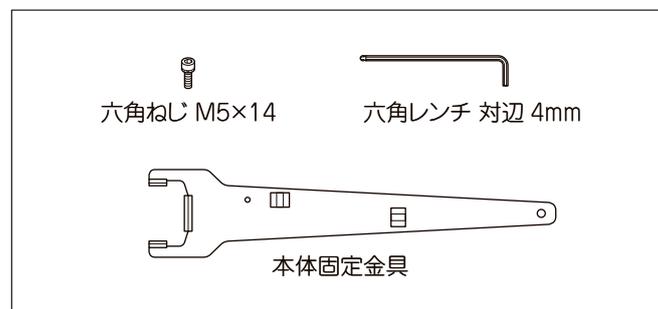
### ◎固定ナット取外し工具の使用方法

#### 構成部品

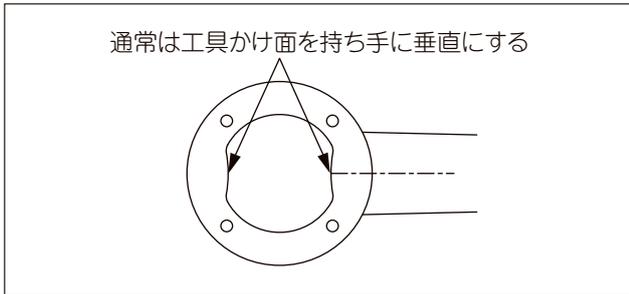
- ・固定ナット取外し工具



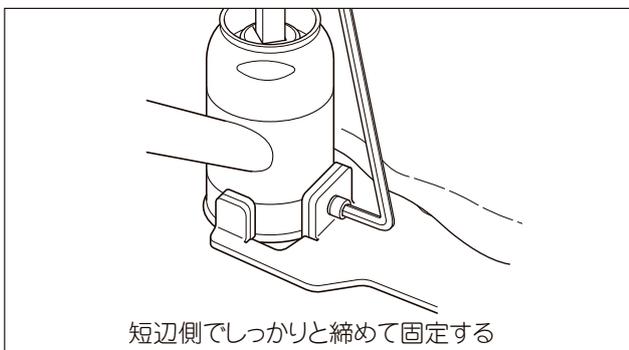
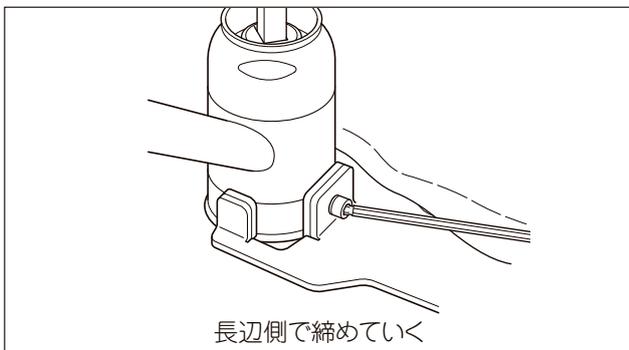
- ・本体固定工具



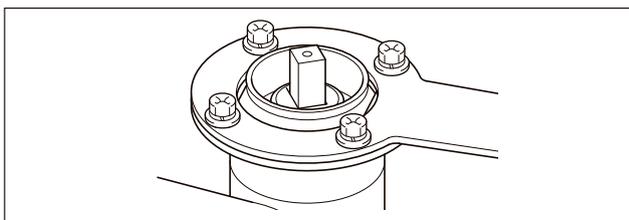
- A-1.** 表の水栓の品番から適合するアダプターを選択して4本のねじM6×10をプラスドライバーで締め付けてください。(出荷時は43のアダプターがついています) アダプター取付け向きは、下図のように持ち手の長手方向に対して工具かけ面を垂直にしてください。ただし、キッチンの壁や他の水栓と干渉が考えられるときは、アダプターの向きを90° 変え、持ち手に対して平行に取り付けてください。



- A-2.** 本体固定金具を前方からはめ、②で外したねじの穴に付属の六角レンチ対辺4mmを使って六角ねじM5×14をしっかりと奥まで締め付けて固定します。

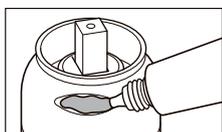


- A-3.** 固定ナット取外し工具を上から工具かけを合わせながら下までしっかりととはめ、水平に保ちます。  
※アダプターの中心と固定ナットの工具かけ部の中心をできるだけ合わせるようにしてください。

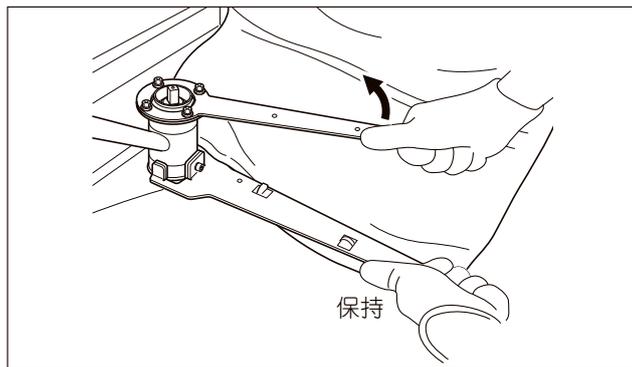


**ポイント**

水栓および工具の工具掛け部が摩耗している場合は市販のねじすべり止め液を2カ所の工具かけ部全面に塗布すると工具と固定ナットがより密着するため大きなトルクをかけられるようになります。



- A-4.** 体勢を安定させ、両方の工具を常に水平に保ちながら、本体固定工具を保持しつつ、固定ナット取外し工具を矢印の方向に回転させ、固定ナットを取り外します。

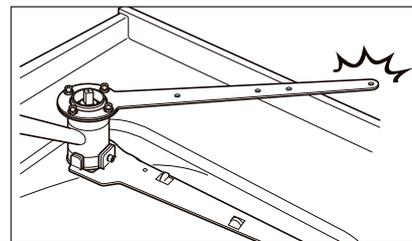


**ポイント**

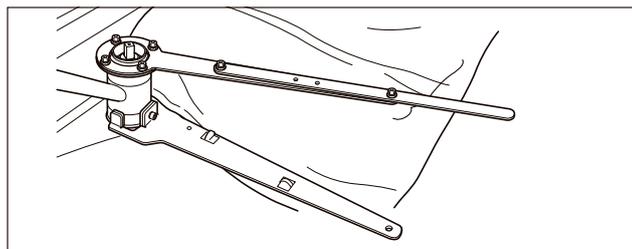
体重をかけての作業は危険です。回せないときは付属の延長プレートを使用してください。

**ポイント**

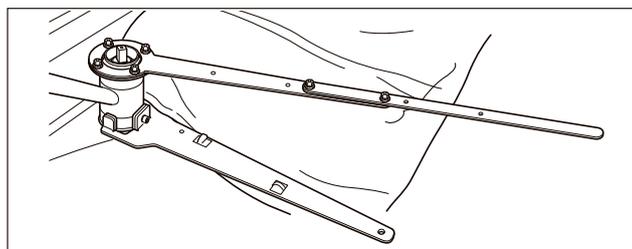
固定ナットの向きによっては固定ナット取外し工具に回転する余裕がないことがあります。(壁などに当たる場合) そのようなときは、アダプターの向きを90° 変えてください。



※付属の延長プレートを使用すると強固に固着している固定ナットを外すことができます。延長プレートとねじM6×10を2個使って、下記の様に適切な長さに延長してください。

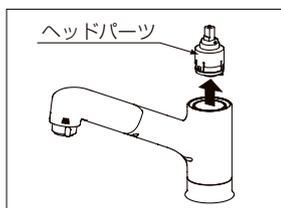


1.4倍延長時



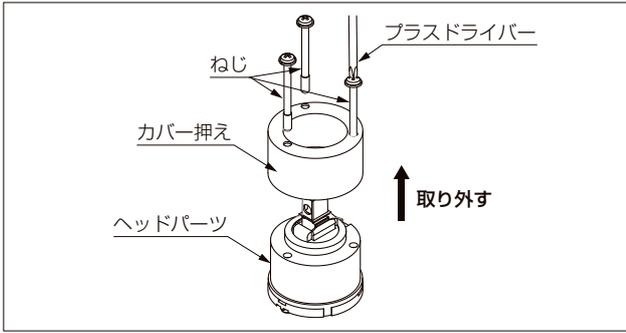
1.8倍延長時

- A-5.** 水栓本体からヘッドパーツを引き抜いて外します。

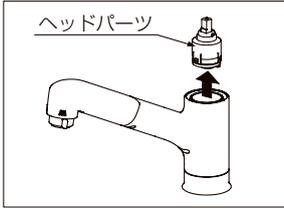


「本体固定工具」は、取り外してください。  
「固定ナット取外し工具」を使わなかった場合でも水栓とクイックワン施工(上面施工)金具を固定するねじは外してください。

- B. 3本ねじ固定式の場合  
 プラスドライバーで3本のねじを外し、カバー押えを取り外してください。



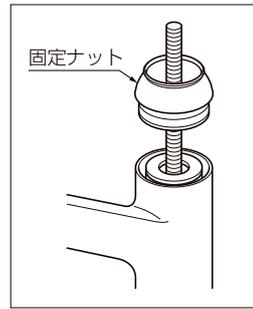
- B-1. 水栓本体からヘッドパーツを引き抜いて外します。



「本体固定工具」は、取り外してください。  
 「固定ナット取外し工具」を使わなかった場合でも水栓とクイックワン施工（上面施工）金具を固定するねじは外してください。

3. 固定ナット、またはカバー押えを再装着します。

- 3-A. 固定ナット式の場合  
 固定ナットを再装着してください。

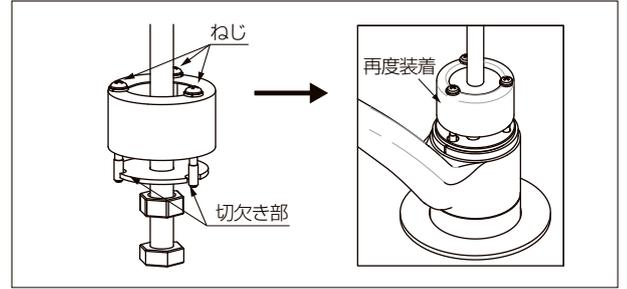


**ポイント**

固定ナット装着後、ボルトがっばって動かないことを確認してください。  
 動く場合、手順4-2のナット下の位置を再度調整してください。  
 固定ナットが装着できない場合ナット下の位置をボルト頭に近づけてください。  
 ボルトが固定されていない場合ナット下の位置をボルト頭から離してください。

- 3-B. 3点ねじ固定式の場合

ワッシャー下（大）の切欠き部でねじを避けた後、カバー押えを再度装着してください。



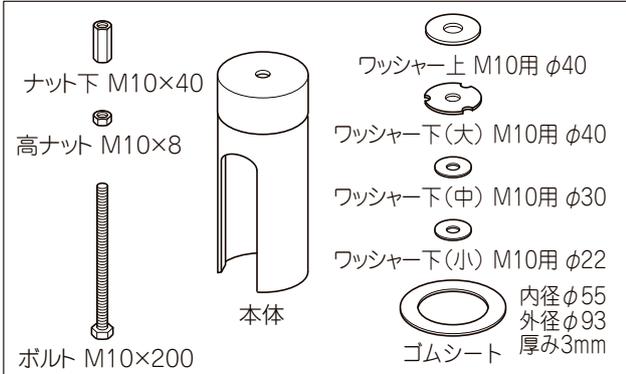
**4 水栓本体の取外し**

1. 水栓本体を取り外します。  
 クイックワン施工（上面施工）金具と水栓本体が固着して回せない場合があります。  
 その場合は、固着水栓取外し工具を用います。

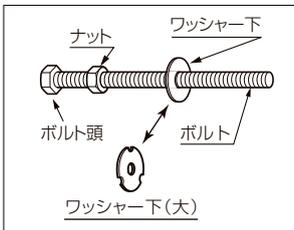
◎取外し工具の使用方法

構成部品

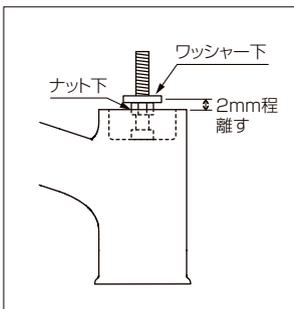
- ・ 固着水栓取外し工具



2. ワッシャー下を通したボルトを水栓本体に入れてください。



ボルトに、ナット、ワッシャー下の順に装着ください。  
 固定ナットの大きさによって大中小のいずれかを使用してください。  
 ※3点ねじ固定式の場合、ワッシャー下（大）を使用してください。



水栓本体にボルトの頭を下にして入れてください。

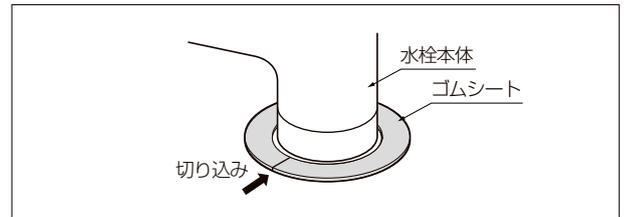
**ポイント**

真横から見て、本体上面からワッシャーを2mm程度浮かせるようにナット下を回して調整してください。

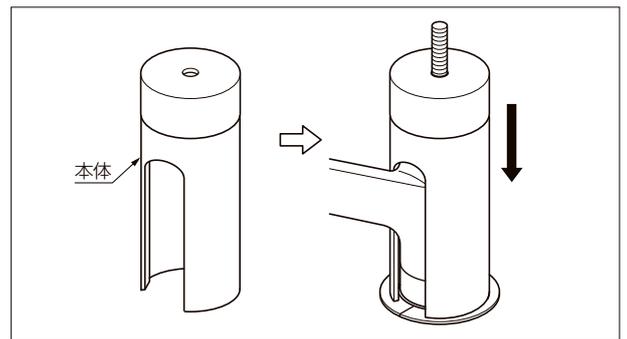
**注意**

固定ナットの径によりワッシャー大中小のいずれかを使用してください。

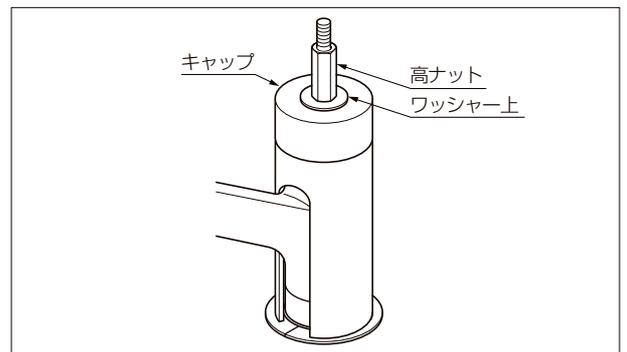
4. ゴムシートにハサミで切り込みを入れて、水栓本体周りにゴムシートを敷きます。水栓本体とゴムシートに隙間がある場合は、ゴムシートを重ねて隙間を埋めてください。



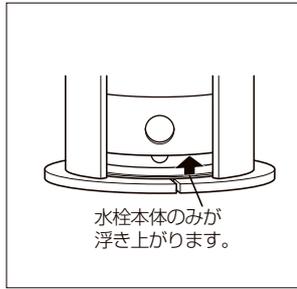
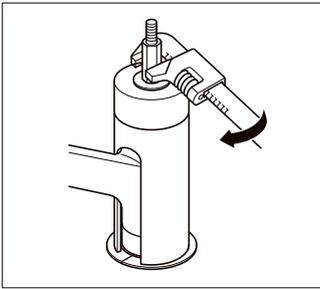
5. 本体を水栓に取り付けてください。  
 分岐栓がある場合は、水栓の吐水口を回転させて、分岐栓と本体が干渉しないように、取り付けして下さい。



6. ボルトにワッシャー上、高ナットの順に取り付けます。



7. 高ナットを右に回して、水栓を取り外します。

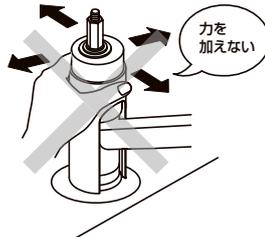


**注意**

水栓金具、工具、キッチンに凹凸、たわみ等の変形およびひび割れや欠けがある場合は、工具を使用しないでください。  
 キッチンを破損させたり、ケガをする恐れがあります。  
 水栓取付部の状態を確認し、水栓取付部に裏補強木(当て木)がない、または破損している場合、工具を使用しないでください。  
 キッチンを傷つける恐れがあります。  
 キャップが変形し始めた場合は、作業をやめてください。  
 キッチンを傷をつける恐れがあります。

**注意**

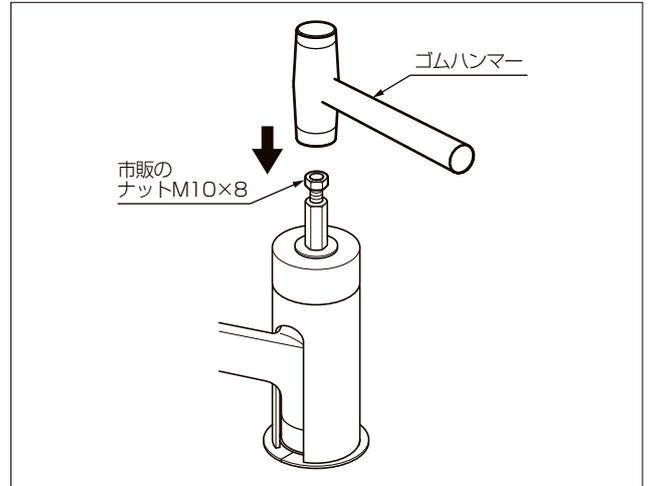
本工具使用中は、本工具をつかんで前後左右に力を加える等をしないでください。  
 キッチンを破損させる恐れがあります。



取り外せない場合は、ボルト真上からゴムハンマー等で振動を与えてください。

**注意**

ハンマーで振動を与える際は、ボルトのねじ山保護のため、市販のナット10×8を先端に取り付け、それをたたいて振動を与えることをおすすめします。  
 ボルトをたたくと、ねじ山が潰れ、高ナットの取り外しができなくなる場合があります。

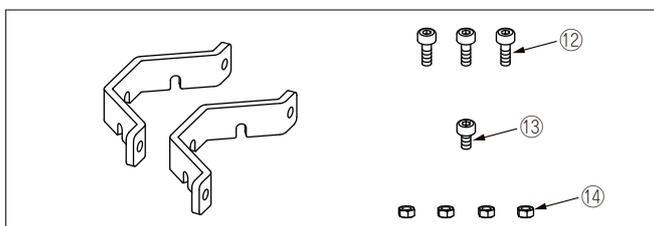
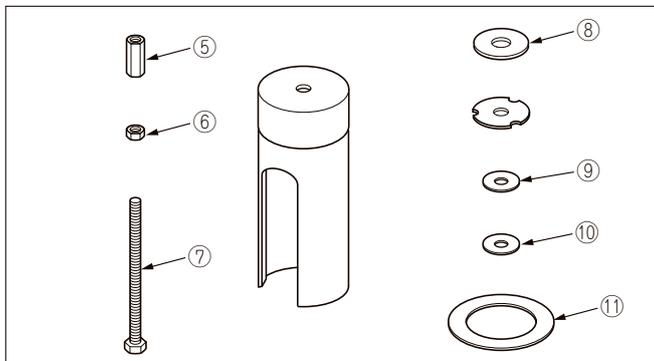
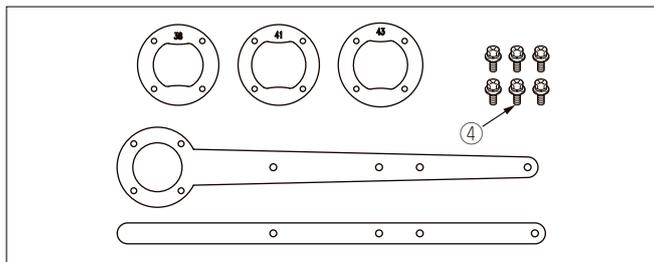
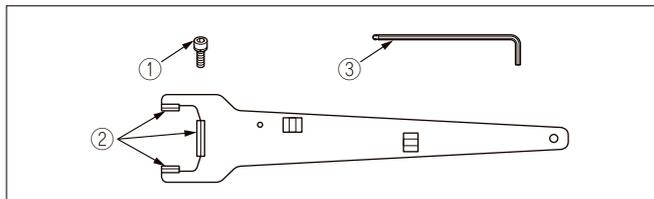


**注意**

水栓金具、工具、キッチンが変形し始めた場合、工具の使用をやめてください。

●部品消耗時・紛失時の対応

工具の性能を維持するために、下記部品はお客様で調達し、適宜交換してください。



お客様調達

番号	名称・仕様
①	小形丸座金組込み六角穴ねじ(M5×14、材質SUS)
②	CRゴムスポンジ(硬度50度、3mm厚、両面テープ付)
③	ロングポールポイント六角棒レンチ(対辺4mm)
④	ばね座金+小形丸座金組込みアセット形十字穴付六角穴ねじ(M6×10、材質SUS)
⑤	高ナット(M10×40)
⑥	ナット(M10×8)
⑦	ボルト(M10×200)
⑧	ワッシャー (M10用φ40)
⑨	ワッシャー (M10用φ30)
⑩	ワッシャー (M10用φ22)
⑪	EPDMゴムシート(外径φ90、内径φ55、3mm厚)
⑫	六角穴付ねじ(M5×15)
⑬	六角穴付ねじ(M5×10)
⑭	ナット(M5×4)